

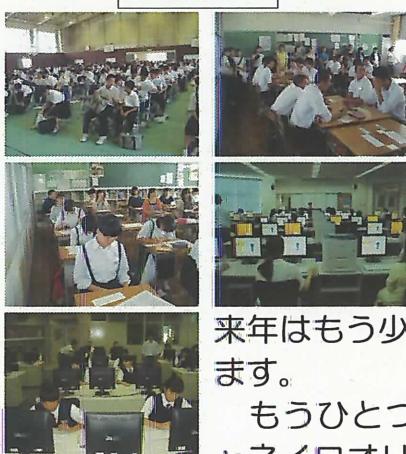
# 体験入学・オリンピック・情報ビジネス科生徒の「筑西市活性化案」の発表

## 教頭便り No4

平成28年8月21日(日)

茨城県立鬼怒商業高等学校 教頭 宇都木 直之

### 体験入学の様子



夏休みもあっという間に残すところあと10日となりました。様々なことがあった中で、8月5日(金)には左の写真のように、たくさんの中学生や保護者の方々が体験入学にきてくださいましたが大変有り難い事として記憶に残っています。当日は、学校概要説明、模擬授業(簿記・総合実践)情報処理(PC実習)などが行われましたが、移動に時間がかかり、一部で時間不足になった授業がありすみませんでした。

来年はもう少し改良し、さらに興味をもってもらえるようにしたいと思います。

もうひとつこの夏は、「リオデジヤネイロオリンピックと共に過ごしてきたなあ」というのも実感です。水泳・柔道・体操・卓球・バドミントン・レスリング・陸上等、毎日日本人選手のメダル獲得の瞬間に日本中が熱狂していましたことでしょう。日本選手の活躍には大変勇気をもらい、彼らの粘りや努力、不屈の闘志を大いに見習い、自分も頑張ろうという気持ちになりました。

さて、次のオリンピックはいよいよ東京です。オリンピックを開催することは、開催国にとって①経済効果 ②雇用促進 ③国民のスピリット向上 ④環境整備 等様々な利点があるようですが、本校の情報ビジネス科(3年5組)では、「どうしたら自分たちのふるさとが活気づくか」ということについて春休みから課題学習として取り組み始め、その成果を筑西市の職員の方々の前で発表することとなりました。7月5日(火)16:20から、川松秀夫校長、草深博明教諭(3-5担任)と筑西市在住の生徒15人が、下館武道館を訪問し、自分たちで作成したパワーポイントをスクリーンに写しながら説明を行ったり、職員の方々の質問に答えたりしました。右の15個の図は生徒たちが作成した資料の一部ですが、「SWOT分析」という、企業や事業を「強み・弱み・機会・脅威」の4観点から分析して経営戦略を考え出すという、一般企業で実際に用いられている有名な手法です。鬼怒商ではこのようなビジネス戦略を学びます。面白そうでしょう？

### 筑西市職員の方々の前での市活性化策の発表



### 市に活性化策提案 筑西 鬼怒商生徒が分析



### 筑西市はこれで街おこし！

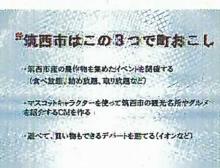
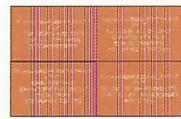
「おひのけの町 花束～しおりキャラクターを担うキャラクターをつくる！」

「一緒に育む街づくり～筑西市は住民を育てお祭りに参加、P活動を再開と一緒につくづく。」

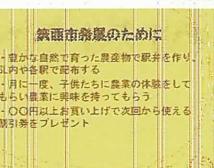
「Let's together～街のでの農産物販賣を立ち上げ新たな野菜を育てて販賣の輪を広げんでもらお。」



### SWOT分析から考える



### SWOT分析から考える



### 筑西市はこれでまちおこし！

・田舎え、耕作体験、筑西のおじいちゃんおばあちゃんとおれあしながら、農業体験。

・昔の歴史名所めぐり、開城跡や玉丘古墳など歴史ある名所を学ぶながら楽しむ。

・若者説定！！藤原秋彦のおすすめグルメツアーや旬の食を使った料理を食べめぐる。



### ?筑西市街おこしプロジェクト?



### 筑西市はこれで街おこし？

・筑西市一周！バスの整備=3

・スピカの中へ有効活用大型SC

・下館駅の駅で特産物販売い◎



### 筑西市を広めよう

1. 海外の人向けた筑西市の農産物を買ったお弁当の販売
2. お年寄りに向けた祇園のバスの運行
3. 基本的下館えりの魅力を紹介するホームページ作り

